

令和8年度施策評価シート（評価対象年度：令和7年度）

基本政策 【分野】	誰もが生涯にわたり安心して健やかに暮らせる まちづくり 【福祉・保健分野】	施策	10_運動・スポーツ	所管部長 取りまとめ所属	健康づくり担当部長 スポーツ課		
施策の内容	多くの市民が健康で活力ある生活を送ることができるよう、ライフステージに応じた運動・スポーツに親しむ機会の提供や、それらを支える人材の育成を推進します。 また、計画的な改修・維持管理により、スポーツ環境の確保を図るとともに、将来的なスポーツ施設の適正配置に向けた検討を進めます。						
めざす姿	生涯を通じて運動やスポーツに親しむ環境が整い、多くの市民が心身ともに健やかな生活を送っています。						
重点事業							
施策構成事業	公園維持管理費	体力づくり推進事業費		スポーツ・レクリエーション活動推進事業費			
	学校体育施設開放事業費	総合体育大会開催費		大山登山マラソン大会開催費			
	体育施設維持管理費	公園スポーツ施設改修事業費					
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の 判断理由	施設の老朽化といった課題があるものの、成果指標は、前年度に引き続き、スポーツ事業の参加者数やスポーツ施設の利用者数がコロナ禍前の水準までほぼ回復しており、「市主催スポーツ事業の参加者数」は既に目標値を達成していることから、施策全体が概ね順調に進捗していると判断します。				
施策推進上の課題・ 環境変化	施設の老朽化により新たな修繕箇所が増え、一部の施設で利用が出来なくなるなど対応が追いついていない状況が続いています。 気候変動の影響により夏場の運動時の熱中症リスクが高まっており、屋内運動施設への冷暖房導入など年間を通じて快適に運動ができる環境整備へのニーズが高まっています。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	概ね順調	概ね順調	概ね順調				
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	施設の改修の方向性を随時見直し、予算の平準化を進めるとともに、市民がスポーツ施設を継続して利用出来るよう着実に施設修繕を行っていきます。 市主催のスポーツ事業を着実に推進しつつ、気軽に参加しやすいウォーキングイベントなどの既存のスポーツ事業について広く広報・周知を展開し、幅広い世代の参画を促すことで、日常的に運動する市民の増加を目指します。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
市主催スポーツ事業の参加者数	4,207人 (R3)	9,919人	9,029人	9,689人			7,800人
市が主催する各種スポーツ競技大会や教室、講習会の延べ参加者数							
スポーツ施設の利用者数	320,670人 (R3)	318,157人	329,829人	332,855人			／
市有スポーツ施設（総合運動公園や鈴川公園、武道館等）の延べ利用者数							
週に1回以上運動やスポーツをする人の割合	53.4% (R3)	61.%	64.1%	62.7%			70%
「市民の体力・スポーツに関する調査」等における数値							
重点事業の取組内容							
事業名							
事業内容	—						
取組工程	項 目	令和7年度					
		計画			実績		
	—	—			—		
令和7年度 取組内容	—						
重点事業以外の取組内容							
令和7年度 主な取組内容	●大山登山マラソン大会を市制55周年記念第41回大会として盛大に開催しました。 ●指定管理施設の期間満了に合わせて、有料公園スポーツ施設と武道館の指定管理業務の一元化を図りました。						